資料１

「令和６年版県民活動白書」の概要について

山口県県民活動促進条例第 14 条の規定により、本県の県民活動の促進の状況及び県民活動に関する施策について報告するもの。

Ⅰ　報告のポイント

・県民活動の現状等を継続的に把握するために、毎年度「県民活動団体の活動実態調査」を実施し、その結果を掲載するとともに、県、市町、関係団体等の取組を取りまとめて掲載

・令和５年３月改定の「山口県県民活動促進基本計画」に掲げる「３つの基本方針」に基づく、令和５年度県民活動関連施策の実績及び令和６年度県民活動関連施策の計画を掲載

【３つの基本方針】

〇県民活動への理解と参加の促進

〇県民活動団体の基盤強化に向けた人づくり・環境づくり

〇県民活動団体と多様な主体との協働の推進」

Ⅱ　構　成

第１部　県民活動の現状と課題

・「県民活動への参加状況」をはじめ、「県民活動団体の活動状況」や「県民活動支援拠点（機関）の状況」、「ＮＰＯ法人の認証・認定状況」について、令和６年度県民活動団体の活動実態調査などの調査データを分析して掲載

第２部　令和５年度県民活動関連施策の実績

・県、山口きらめき財団及び県民活動支援センターの令和５年度県民活動関連施策の実績について、事業の概要をわかりやすく一覧にまとめ、主な事業については「山口県県民活動促進基本計画」に掲げる３つの基本方針ごとに抜粋して掲載

第３部　令和６年度県民活動関連施策の計画

・「山口県県民活動促進基本計画」に掲げる３つの基本方針に基づく、県、山口きらめき財団及び県民活動支援センターの令和６年度県民活動関連施策の計画について、第２部と同様に掲載

第４部　市町における取組

・市町における取組の概要や条例・計画の状況及び県民活動支援拠点の取組について掲載

（参　考）「県民活動に関するあゆみ」及び「山口県県民活動促進条例」掲載

Ⅲ　報告書の概要

第１部　県民活動の現状と課題

【県民活動団体数】

令和５年度：2,680 団体

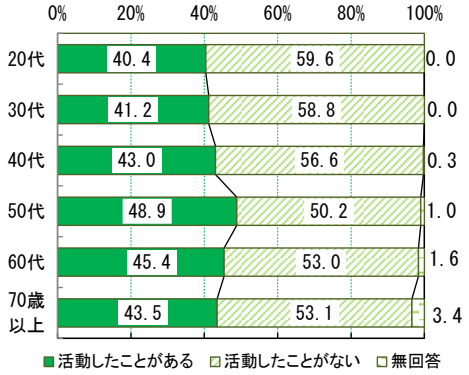
年　度	R1	R2	R3	R4	R5
団体数	2,431	2,443	2,445	2,580	2,680

【県民活動への参加】

県民活動に参加したことのある県民の割合は５割を下回り、特に 20 代の参加割合が最も低い状況である。

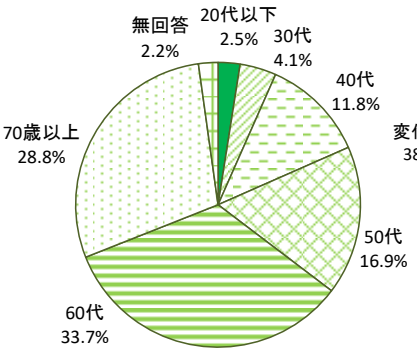
団体の会員についても、中心的な活動メンバーは 50 代以上が約８割を占め、会員が増加したのは約１割に留まっているため、参加しやすい環境づくりの推進が必要である。

［県民活動への年代別参加割合］

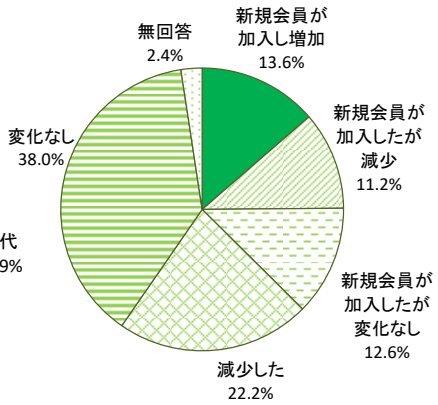


上記はR5山口県「県政世論調査」の調査データ

［中心的な活動メンバーの年代］



［会員数の状況］

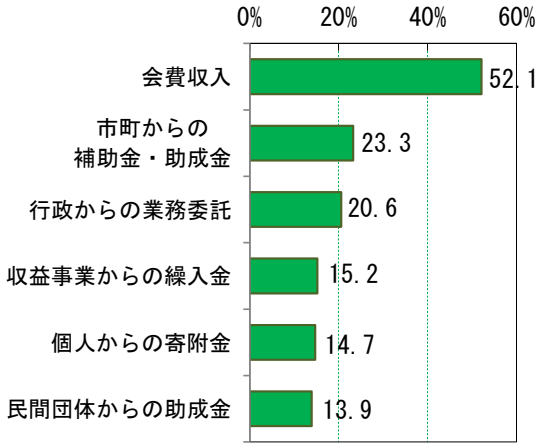


【団体の基盤】

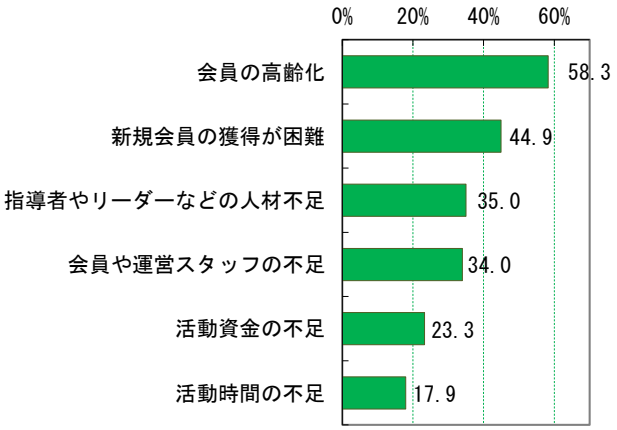
主な収入源として、会費収入をあげている団体が半数以上であり、財政基盤の弱い団体が多い。

また、会員の高齢化など人材に関する課題が上位を占めており、団体の基盤強化が必要である。

［団体の収入源］



［活動を行う上での課題］

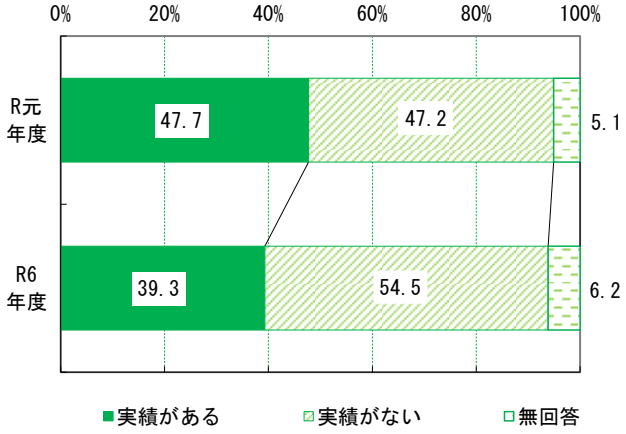


【協働】

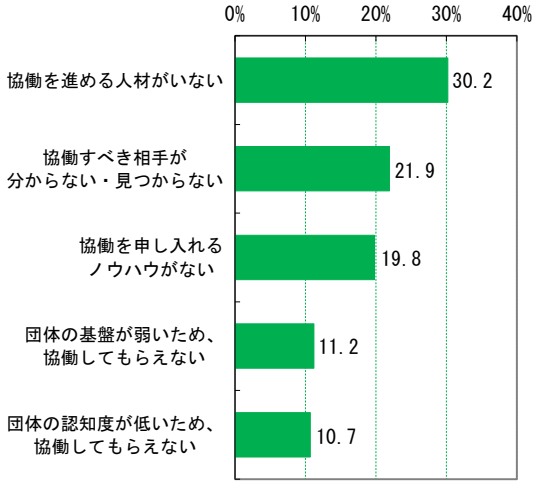
団体と多様な主体との協働の実績は、４割未満と低い状況にある。

また、協働を進める際の課題として「協働を進める人材がいない」という回答が約３割となっており、協働をコーディネートする人材の育成など、多様な主体と協働できる体制を整備することが必要である。

［多様な主体との協働］



［多様な主体と協働する際の課題］



第２部　令和５年度県民活動関連施策の実績

基本方針１　県民活動への理解と参加の促進

施策の展開方向	事業の概要
イベントの開催による県民活動への理解と参加の促進	●きららでキラリ！県民活動促進事業 ・山口きらら博記念公園でのイベント　「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」の開催 10 月 7 日（土）・８日（日） ステージ発表 12 団体、ブース出展 42 団体、運営ボランティア 65 名 ・出展者・運営ボランティア交流会の開催 ４回　参加者延べ 176 名
若年層の参加促進に向けた高校・大学等との連携	●未来へつなぐ！若者の県民活動促進事業 ・高校生・大学生等を対象とした団体活動説明会の開催 ８回　延べ 33 団体　受講者 592 名 ・ボランティア体験会の開催 44 回　22 団体　参加者延べ 225 名

基本方針２　県民活動団体の基盤強化に向けた人づくり・環境づくり

施策の展開方向	事業の概要
プロボノの活用による県民活動団体の基盤強化	●プロボノによる県民活動団体の基盤強化事業 ・「やまぐちプロボノワーカーバンク」の創設・運営 プロボノワーカーバンク登録者数　70 名 ・「やまぐちプロボノコンシェルジュ」の配置 マッチング件数 27 件 （受入 22 団体、プロボノワーカー29 名）

基本方針３　県民活動団体と多様な主体との協働の推進

施策の展開方向	事業の概要
「協働ファシリテーター」による協働の推進	●協働ネットワーク強化による県民活動促進事業 ・「地域協働ファシリテーター」養成研修の開催 ５回　参加者延べ 124 名 ・市町民活動支援センターへの支援 個別支援等　８市センター ・情報共有会議の開催 ３回　参加者延べ 78 名
「あいかさねっと」を活用したマッチングの推進	●「あいかさねっと」等を通じたボランティア活動マッチング件数　416 件

第３部　令和６年度県民活動関連施策の計画

基本方針１　県民活動への理解と参加の促進

施策の展開方向	事業の概要
イベントの開催による県民活動への理解と参加の促進	●きららでキラリ！県民活動促進事業 ・山口きらら博記念公園でのイベント　「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」の開催 ・「きららでキラリ！新企画提案コンテスト」の開催 ・出展者や運営ボランティア等が参加する交流会の開催
若年層の参加促進に向けた高校・大学等との連携	●未来へつなぐ！若者の県民活動促進事業 ・団体活動説明会の開催 ・ボランティア体験会の開催 ・体験会等を活用した情報発信の強化

基本方針２　県民活動団体の基盤強化に向けた人づくり・環境づくり

施策の展開方向	事業の概要
プロボノの活用による県民活動団体の基盤強化	●プロボノによる県民活動団体の基盤強化事業 ・「やまぐちプロボノワーカーバンク」の管理運営 ・「やまぐちプロボノコンシェルジュ」の配置 ・プロボノ交流会・活動報告会の開催

基本方針３　県民活動団体と多様な主体との協働の推進

施策の展開方向	事業の概要
「協働ファシリテーター」による協働の推進	●協働ネットワーク強化による県民活動促進事業 ・「地域協働ファシリテーター」養成研修の開催 ・市町民活動支援センターへの支援 ・情報共有会議の開催
「あいかさねっと」を活用したマッチングの推進	●「あいかさねっと」の利用促進

第４部　市町における取組

・市町における県民活動に関する条例・計画の状況や活動概況、取組方針等
・市町民活動支援センター等の県民活動支援拠点の取組

令和６年度
県民活動促進関連事業

資料２

Ⅰ　県事業の概要

Ⅰ 未来へつなぐ！若者の県民活動促進事業

趣　旨

若者の県民活動への理解を促進するとともに、県民活動団体や高校・大学等と連携して、参加機会の創出や参加しやすい環境づくりを行い、未来の県民活動を支える若い世代の人材育成を図り、県民活動の裾野を拡大

事業内容

【事業費：5,000千円】

項　目	内　　容
理解と参加の促進	○**団体活動説明会の開催** ・高校生や大学生等を対象に、授業や講義、市町民活動支援センターの行事等で団体の活動紹介を実施 ○**ボランティア体験会の開催** ・団体の活動を実際に体験し、参加者間による意見交換を実施 ○**体験会等を活用した情報発信の強化** ・体験会に参加した高校生、大学生等のインタビューを含む団体の活動紹介動画の作成 ・体験談等の情報発信による普及啓発

事業イメージ

高校や大学等と連携した若い世代の県民活動に対する理解と参加の促進

●**団体活動説明会の開催**
高校の授業や大学の講義、
市町民活動支援センター等で実施

高校生、大学生等のニーズを踏まえて実施

●**ボランティア体験会の開催**
団体の活動を実際に体験
参加者間での意見交換の実施

若者向けの情報発信による普及啓発

●**高校の１人１台タブレット端末**
高校生、大学生等が参加した
体験会等を活用した情報発信

●**「あいかさねっと」**
ボランティア募集情報を掲載
する際、団体紹介動画等を活用

●**YouTube**
体験会を通じて作成した
団体紹介動画等を掲載

未来の県民活動を支える人材の育成・裾野の拡大

活動説明会

	場　所	受　講　者		団　体
1	徳山商工高校	２年	（７７名）	８団体
2	防府市地域協働支援センター	防府商工高校１～３年他	（３４名）	６団体
3	宇部フロンティア大学	看護学部１年	（１１名）	３団体
4	山口県立大学	社会福祉学部１年	（９５名）	３団体
5	梅光学院大学	文学部２～４年	（５１名）	３団体
6	宇部フロンティア大学付属香川高校	１年	（１９７名）	４団体
7	山口大学	人文学部２～４年	（７９名）	３団体
8	山口大学	農学部２年・３年	（４８名）	３団体

【場　所】高校２校、大学５、市民活動支援センター　**【受講者】**５９２名
【団　体】２７団体（延べ３３団体）

《説明団体（抜粋）》

団　体　名	所在地	主な活動内容
フードバンク山口	山口市	フードバンク活動
青年海外協力隊OB会	防府市	国際交流・協力に関する講座、研修会の開催
Kananowa	下関市	子どもたちの環境づくり（勉強会、体験学習）
周南ちるちあネット	周南市	地域交流、子ども食堂の運営

宇部フロンティア大学付属香川高校

山口県立大学

山口大学

ボランティア体験会（抜粋）

団　体　名	所在地	体験内容
こども明日花プロジェクト	山口市	学習支援
nanatomo	防府市	イベントの運営補助
リレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐち	山口市	団体のPR、チラシ配布
周南ちるちあネット	周南市	子ども食堂の調理補助

【回　数】４４回　**【参加者】**延べ２２５名　**【団　体】**２２団体

イベントの運営補助

子ども食堂の調理補助

情報発信

YouTube

高校生、大学生等が県民活動団体の活動を実際に体験する「ボランティア体験会」を開催した県民活動団体の活動紹介動画を配信（４本制作）

※R5年度は徳山商工高等学校の生徒が作成
①未来をつくる鹿野人KANOA
②周南ちるちあネット
③ハダシランド周南
④周南市中心市街地活性化協議会

活動紹介記事

活動説明会・体験会を実施した２２団体の活動紹介記事を作成

2 プロボノによる県民活動団体の基盤強化事業

趣　旨

県民活動団体が年間を通じてプロボノを利用できる体制を整備・運営し、プロボノの活用による、団体の人材育成・確保と財政基盤の強化を促進

※プロボノ：仕事上、身に付けた専門的な知識や技術を活かしたボランティア活動

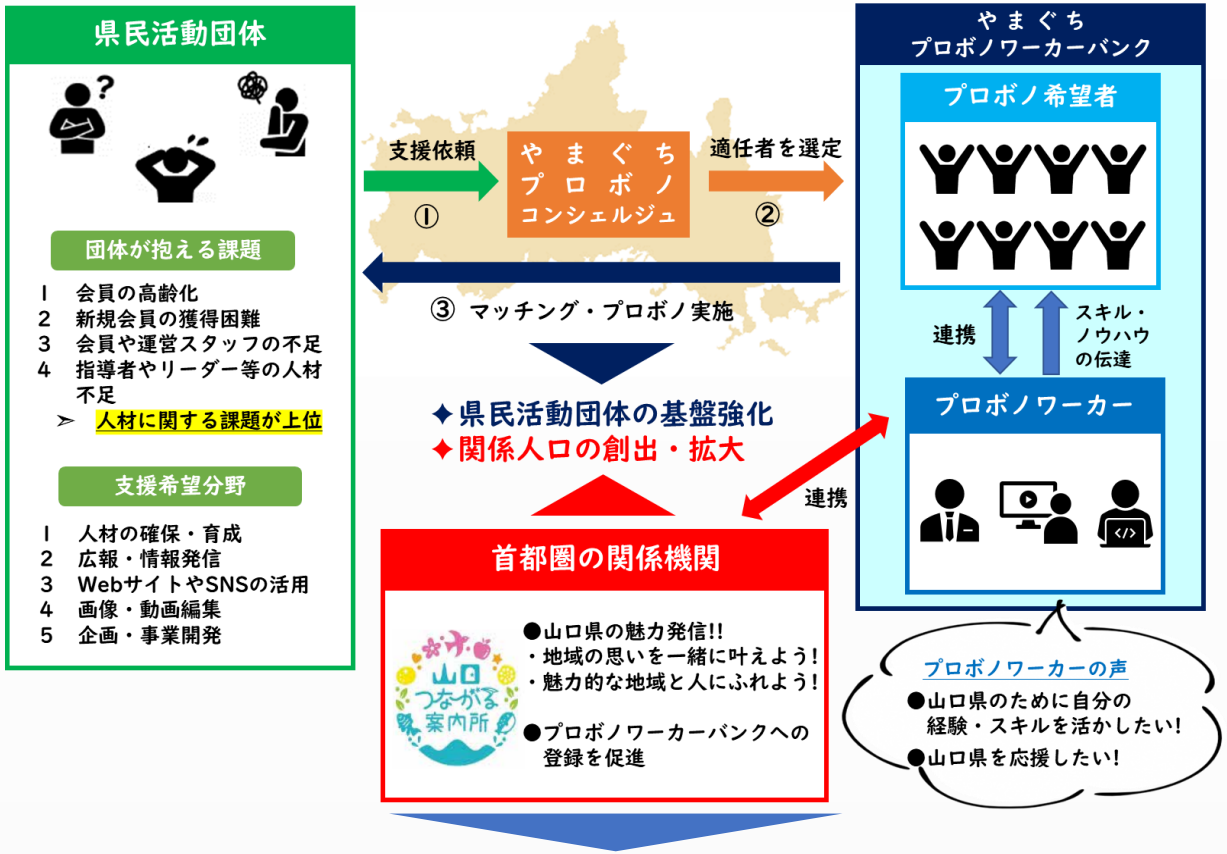
事業内容

【事業費：8,260千円】

項　目	内　　容
団体の基盤強化	○**「やまぐちプロボノワーカーバンク」の管理・運営** ○**「やまぐちプロボノコンシェルジュ」の配置** ・団体とワーカーのマッチングや伴走支援を実施 ○「山口つながる案内所」等と連携したワーカーの発掘 ○県内におけるワーカー・活用団体の発掘 拡 **プロボノ交流会・活動報告会の開催** ・山口県のプロボノ活動の普及啓発 ・プロボノワーカーとワーカー希望者等の交流機会の提供を通じた人材育成と、プロボノの定着につなげるプロボノネットワークの構築

事業イメージ

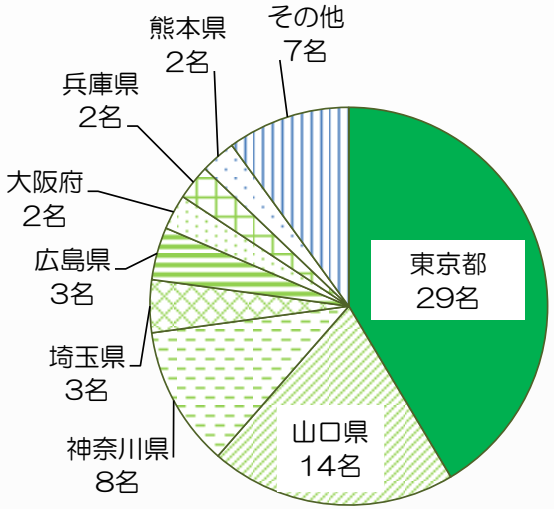
団体の基盤強化につなげるプロボノの活用体制の整備



「やまぐちプロボノワーカーバンク」登録状況（令和６年３月末時点）

在住都道府県

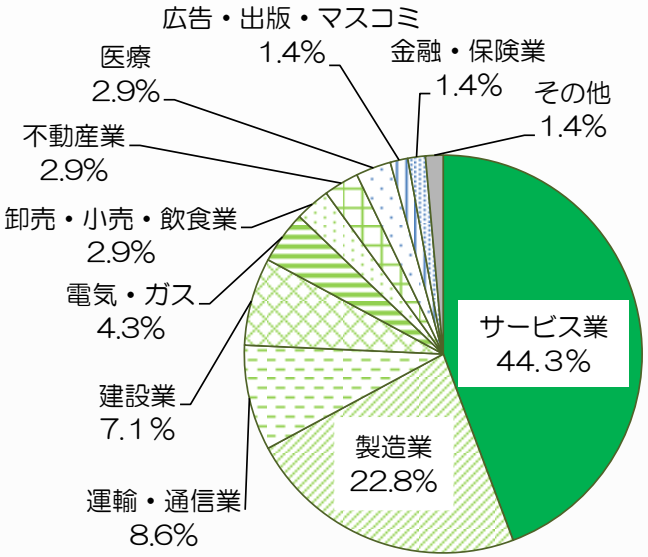
■全国各地域から**７０名**の方々に登録していただいており、東京都や神奈川県、埼玉県等の**首都圏在住の方々の登録が半数以上**を占めている。



東京都	４１．３％
山口県	２０．０％
神奈川県	１１．４％
埼玉県	４．３％
広島県	４．３％

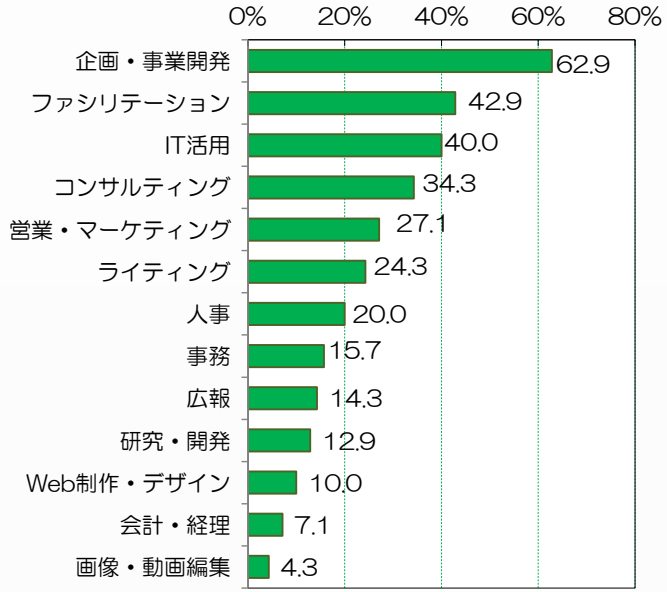
業種別登録状況

■**「サービス業」に従事する方が約４割**を占め、続いて「製造業」、「運輸・通信業」が上位を占めている。



スキル別登録状況

■**「企画・事業開発」が６割**を占め、続いて「ファシリテーション」、「IT活用」、「コンサルティング」が上位を占めている。



マッチング・活動状況

マッチング数

■延べ２７団体と２９名のワーカーをマッチング。

情報発信に課題を抱えている団体が多く、団体とIT活用やWeb制作に関するスキルを持つワーカーがチームになり、団体のHPの見直しやSNSを活用した情報発信力の強化に取り組んだ事例がある。

団体が解決したい課題	マッチングしたワーカーのスキル
HPの見直し・改善	IT活用、広報、コンサルティング
多言語での情報発信	Web制作・デザイン、IT活用
財政面の運営健全化に向けた検討	企画・事業開発、営業・マーケティング、コンサルティング、IT活用
NPO活動報告書のブラッシュアップ、認知度向上	コンサルティング、Web制作
Zoom利用方法（ホスト側を務める場合）	IT活用

成果報告会

【日　時】令和６年２月２３日
【方　法】現地・オンライン（現地：渚の交番 島戸（下関市）、オンライン：Zoom）
【参加者】５７名（プロボノワーカー：19名、受入団体：17名　など）
【内　容】①報告会：Ｒ５年度に活動した団体から、活動内容と成果の報告
過年度活動した団体から、その後の進展について報告
②意見交換会：プロボノワーカー、団体、一般参加者での意見交換

■報告団体

団　体　名	所在地	活動内容
NPO法人山口せわやきネットワーク	山口市	現行ホームページの改善・見直し
ポポメリー	山口市	会計関連帳票管理の効率化
NPO法人ほうふグローバルネット	防府市	在留外国人の方向けのホームページ構築
NPO法人つなぐ	長門市	長門市民に向けた情報発信力強化
長門郷土文化研究会	長門市	会誌『郷土文化ながと』電子化プロジェクト
楢原ゆうあい会	下関市	活動内容についての広報活動強化
NPO法人コバルトブルー下関ライフセービングクラブ	下関市	システムによる業務効率化のその後　【R３活動】
コミュニティカフェココのいえ	山口市	コミュニティハウス活動の今後の展望【R４活動】

3 協働ネットワーク強化による県民活動促進事業

趣　旨

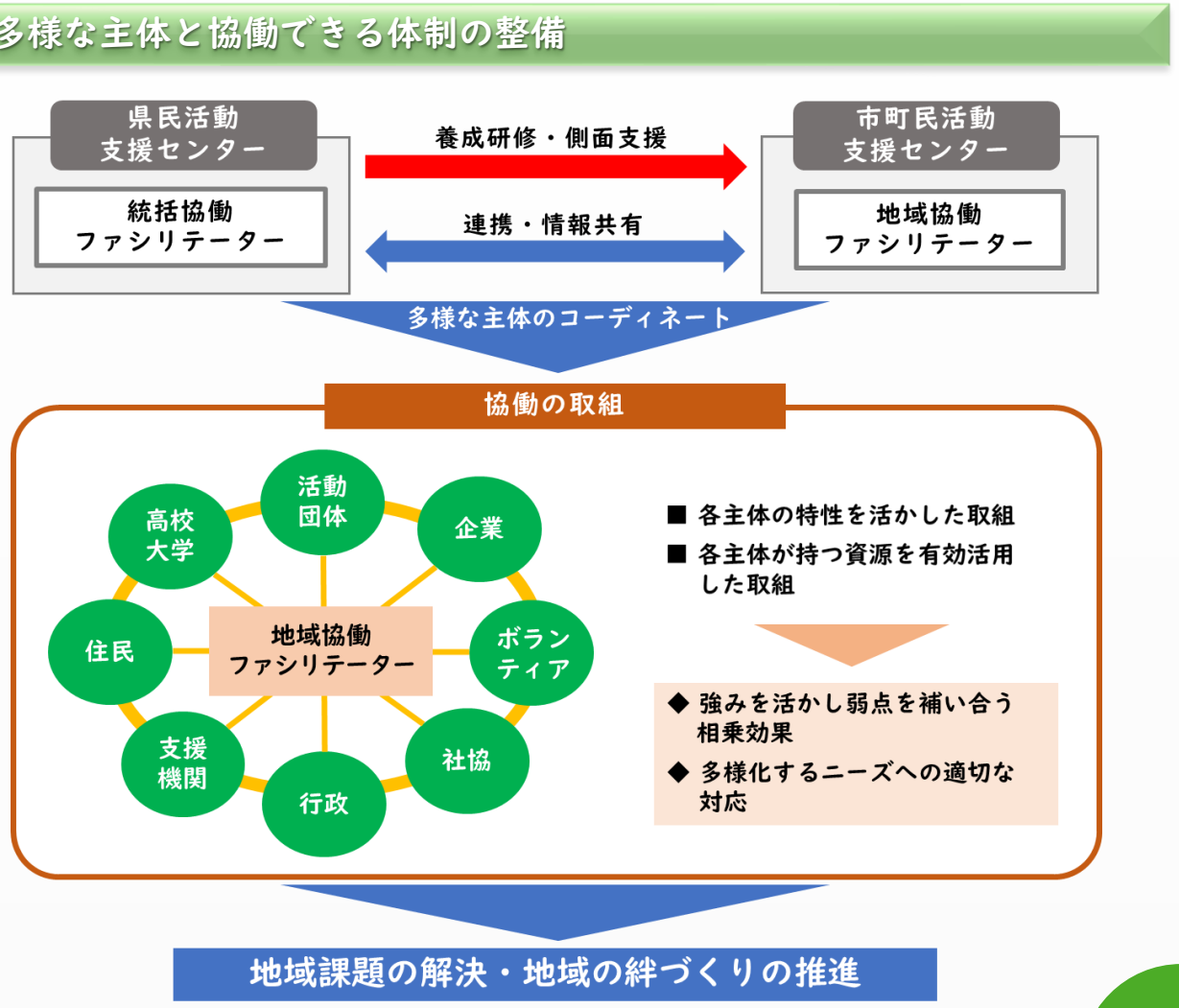
県民活動団体が多様な主体と協働できる体制整備を図り、「協働」による地域課題の解決に向けた取組を推進するとともに、県民活動を通じた人と人とのつながりによる地域の絆づくりを推進

事業内容

【事業費：5,500千円】

項　目	内　　容
協働体制の整備	○**「地域協働ファシリテーター」養成研修の開催** ・市町民活動支援センターのスタッフ等を対象として実践につながる研修を開催 ○**市町民活動支援センターへの支援** ・やまぐち県民活動支援センターに配置する「統括協働ファシリテーター」による支援 新 「協働ファシリテーター実践のしおり」の作成 ○**情報共有会議の開催** ・課題解決に向けた各地域の取組状況を共有し、成功事例の全県展開を図るとともに、活動団体と多様な主体とのネットワークを形成

事業イメージ



「地域協働ファシリテーター」養成研修の開催

	研修内容	講　師	参加人数
基礎研修	協働ファシリテーターの役割 ～支援者としての課題を見出す～	ひろしまNPOセンター 事務局長　松原　裕樹 氏	２５名
テーマ別研修①	メタファシリテーション講座	認定NPO法人アカツキ 理事　永田　賢介 氏	体験編：１７名 実習編：１５名
テーマ別研修②	『つなぎの手帖』から学ぶ 実務的なコミュニケーション	NPO法人ふくおかNPOセンター 代表　古賀　桃子 氏	導入編：１６名 実践編：１５名
テーマ別研修③	官民協働	岡山NPOセンター 高平　亮 氏	１５名
テーマ別研修④	複数の主体による協働	岡山NPOセンター 石原　達也 氏	２１名

市町民活動支援センターへの支援

個別支援

「統括協働ファシリテーター」と外部講師が市町民活動支援センターを巡回し、各センターの実情に応じた助言を行った。

【訪問センター】
山口市、防府市、下関市、岩国市、宇部市、山陽小野田市、萩市、長門市（訪問順）

伴走支援・協働の掘り起こし

○各センターの要望に応じ、対面支援
○ファシリテーション現場見学
・実際のファシリテーションやその動き方について、現場で体験・見学を行った。
○先進センター訪問
・希望するセンターのスタッフが先進センターの訪問等により協働関連の取組方を学んだ。

情報共有会議の開催

第１回：２月５日

若者による県民活動への参画・関係づくり

■内　容

①防府市市民活動支援センターからの情報提供
　・中間支援組織として取り組んでいることや取組に至るまでのプロセス（関係先への働きかけ方）など
②他のセンター等からの情報提供
③助言者からの取組紹介やコメント

■参加者数　２８名

第２回：２月２９日

企業セクターとの関係づくりや継続的な協働の進め方

■内　容

①山口市市民活動支援センターからの情報提供
　・NPOと地元企業の双方にメリットがある協働のしくみ「支え人プロジェクト」など、企業とのつながりで展開している事業内容の紹介等
②他のセンター等からの情報提供
③「プロボノ事業」を通じた企業セクターとの取組状況の情報共有

■参加者数　３１名

第３回：３月１９日

フードバンク・子ども食堂に関する活動との協働連携

■内　容

①県内のフードバンク・子ども食堂関係者からの情報提供
　・運営上の課題（ボランティア不足、組織運営など）について共有
②市町民活動支援センターで支援できることについての情報交換
③助言者からの取組紹介やコメント

■参加者数　１９名

4 きららでキラリ！県民活動促進事業

趣　旨

県民一人ひとりがキラリ！と輝き活躍できるよう、山口きらら博記念公園でのイベントの開催を通じて、県民活動の魅力発信や参加機会の提供等を行い、団体の活動を活発化させるとともに、誰もがいきいきと県民活動に参加できる環境づくりを促進

事業内容

【事業費：10,400千円】

項　目	内　　容
イベント・交流会等の開催	○**「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」の開催** ・団体等のステージ発表、ＰＲブースの出展 ・優れた取組を行う団体の表彰 新 新たな県民活動の企画提案と賛同者募集の場となる「きららでキラリ！新企画提案コンテスト」の実施 ・「ゆめ花マルシェ」との連携 ○**出展者や運営ボランティア等が参加する交流会の開催** ・イベントを通じた交流・連携等をテーマに、複数回開催

事業イメージ

「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」の開催を通じた県民活動の促進

つながるステージ

●団体活動発表・パフォーマンス
●和太鼓、歌、ダンス、紙芝居、朗読、活動PR など

つながるテント

●活動PR
●ワークショップ
●ボランティア体験
●団体間、参加者間での交流

つながるボランティア

●おもてなし
●イベント運営支援
●団体の活動PR支援
●「ちょるる」のおでかけ支援 など

きららでキラリ！県民つながるフェスタ及び交流会の開催

表 彰 等

●地域貢献賞
●きらめき賞
●モデル事業所

きららでキラリ！新企画提案コンテスト

●企画提案と賛同者募集
●上位３企画に賞金授与

交 流 会

●イベント前後に複数回開催
●企画内容の意見交換、イベント後の振り返り など

県民の参加意識醸成・県民活動の活発化

「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」の開催

【日　時】令和５年１０月７日（土）・８日（日）

【会　場】山口きらら博記念公園　大芝生広場（山口市阿知須）

【内　容】

■県民つながるステージ
・ダンスや歌などで地域を元気にしている皆さんによるパフォーマンス（１２団体）

■県民つながるテント
・県民活動団体や中間支援組織等が設ける体験・交流・展示の場（４２団体）

■県民つながるボランティア
・おもてなしやイベント運営で来場者の「つながる」をサポート（６５名）

■優れた取組を行う団体の表彰等
①「チャレンジやまぐち！地域貢献賞」表彰式
②「県民活動きらめき賞・文化芸術活動きらめき賞」表彰式
③「企業ボランティア活動促進モデル事業所」指定書贈呈式

ステージ

テント

ボランティア

表彰等

地域貢献賞

きらめき賞

モデル事業所

交流会の開催

第１回：７月２９日

■募集説明会・交流会

つながるフェスタの参加に関する説明会・交流会（参加者数：４６名）

第２回：８月２７日

■「公園と県民活動」について考える交流会

「きららパークを話したい会」県民ワークショップと連携した「公園と県民活動」について考え、意見交換する交流会（参加者数：５１名）

第３回：９月１６日

■参加説明会・企画持ち寄り交流会

つながるフェスタ当日の運営に関する説明会・企画持ち寄り交流会（参加者数：３６名）

第４回：３月１６日

■振り返り大交流会「県民つながるカンファレンス TSUNAカン2024」

つながるフェスタなど、各自が取り組んだ令和５年度の活動を振り返り、来年度に向けた意見やアイデアを募る交流会（参加者数：４３名）

◆講　演

市民活動のステップアップ
～つながりとチャレンジの場を市民の力に～
講師：早瀬　昇氏
（社会福祉法人大阪ボランティア協会理事長）

◆トークセッション：「つなフェス2024」の展望

早瀬　昇×平田　隆之（NPO法人市民プロデュース理事長）

◆ワーク

・「つなフェス2023」の振り返りや講演の感想共有
・「つなフェス2024」に向けたアイデアなどを語り合い、共有

Ⅱ　やまぐち県民活動促進実行委員会事業

概　要

県、公益財団法人山口きらめき財団及びやまぐち県民活動支援センターとで実行委員会を組織し、三者が連携しながら事業を実施

事業内容

項　目	内　　容
県民活動促進キャンペーンの実施	県民活動促進期間（10月～11月）を中心に、県民活動の拡がりと発展を目的とするキャンペーンを実施 ・啓発グッズ等の作成・配布
「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」の開催	P10～12参照
県民活動フェスタの実施	県民の皆様に県民活動への理解を深めていただき、活動への一層の参加を促すため、県民活動団体や市町、企業等の関係者が一体となって開催 ①期間：令和６年８月～令和７年１月 ②地域：長門、防府、山陽小野田、岩国 ③主体：実行委員会及び該当市町、市町センター ④手法：市町センターが主催するイベント等と連携して開催

「県民活動フェスタ」の令和５年度開催状況

防府市市民活動支援センター「ほうふ市民活動フェスタ2023」及び防府商工高等学校「第20回天神まちかどフェスタ」と連携

日付：令和５年10月１日（日）
内容：団体のステージ発表、ブース出展、県の取組を紹介する展示等

萩市市民活動センター「ハロウィンたまち＆結まつり2023」と連携

日付：令和５年10月21日（土）
内容：ブース出展、
県の取組を紹介する展示等

宇部市民活動センター「第72回宇部まつり『青空ゾーン』」と連携

日付：令和５年11月5日（日）
内容：ブース出展、
県の取組を紹介する展示等

いわくに市民活動支援センター「市民活動カフェ2024」と連携

日付：令和６年１月14日（日）
内容：ブース出展、県民活動に係る個別相談会、県の取組を紹介する展示等

資料３

意見交換項目

１　若年層の県民活動団体への参加に向けた取組について

○令和６年度県民活動白書（案）によると、県民活動団体が抱える課題として、「会員の高齢化」や「新規会員の獲得が困難」など、人材に関する課題を抱える団体が依然として多い状況である。

○県では、「やまぐち未来維新プラン」や「県民活動促進基本計画」において、「若年層の参加割合が３割以上を占める県民活動団体の割合」を増加させることを目標に掲げているが、近年、減少傾向にある。

【Ｒ３：16.5%　　Ｒ４：13.2%　　Ｒ５：12.6%　　Ｒ６：9.6%】

○一方で、令和５年に実施した県政世論調査結果における「県民活動へ参加したことがある」と回答した県民の割合を年代別にみると、20 代、30 代の参加割合は、前回の令和３年調査結果よりも増加している。

【20 代】Ｒ３：36.0%　　Ｒ５：40.4%
【30 代】Ｒ３：37.6%　　Ｒ５：41.2%

○このことから、地域でのボランティア活動やコミュニティ活動への参加割合は増加しているものの、県民活動団体の一員としての活動にはつながっていないものと推測される。

○今後、県民活動団体の担い手として期待される若年層の参加促進に向けて、どのような取組が効果的か、御意見をお伺いしたい。

２　県民活動の促進に向けた今後の施策展開について

○県では、「県民活動促進基本計画」で掲げる３つの基本方針に基づき、以下のとおり取組を展開している。

【基本方針１】県民活動への理解と参加の促進

・山口きらら博記念公園でのイベントの開催

・高校・大学等と連携した団体活動説明会、ボランティア体験会の開催

【基本方針２】県民活動団体の基盤強化に向けた人づくり・環境づくり

・年間を通じてプロボノを利用できる体制の整備

【基本方針３】県民活動団体と多様な主体との協働の推進

・「協働ファシリテーター」による協働の推進

○これらの県の事業は令和５年度にスタートし、現在２年目の事業となるが、各事業の効果的な取組手法や進め方について、御意見をお伺いしたい。

○また、現在取り組んでいる事業以外で、基本方針に沿って取り組むべき内容についても、御意見をお伺いしたい。